



地域版9月号

やしろ学園

加東市立社学園小学校 学校通信

戦後80年 中学生の平和学習から学ぶ

今年は、戦後80年になります。テレビでは戦争の特集番組を放送して、戦争を知らない世代が当時のことを知り、事実を学ぶことが、これから平和な未来を築くには必要であると訴えています。

本校では、7月8日（火）に、9年生が平和集会を開き、6年生も参加しました。長崎県に行った修学旅行での平和学習を発表してくれました。6年生は、2学期に広島県に修学旅行へ行きますので、9年生の発表から学んだことを、自分たちの学習につなげていく予定です。

9年生の発表では、長崎原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼記念館、平和公園へ行き、写真や調べた内容など、被爆地長崎県の当時の様子を伝えてくれました。1945年8月9日の長崎県への原子爆弾投下により、壊滅的な被害を受けましたが、人々の平和への願いにより見事に復興を遂げ、平和都市として恒久平和を全世界へ訴えています。発表を聞いた児童たちにも壮絶な戦争の様子や復興への思いが感じられたことだと思います。

平和集会では、長崎県出身のシンガーソングライター福山雅治さんの「クスノキ」を合唱しました。爆心地から800mにある山王神社のクスノキをモチーフに作詞作曲されたこの曲には、全ての生命が等しく生きられる世界への願いが込められています。平和学習を深めてきた9年生の合唱には、生命の尊さや平和への願いが歌声となって伝わり、体育館の雰囲気を変えるものでした。6年生の子どもたちの心にも響き、様々なことを考えたことだと思います。

9年生が平和宣言で発表したことが、私の心に残りました。「平和な未来を創るために、今の私たちには、何ができるでしょうか。中学生にできることは限られています。しかし、子どもだから何もしない、ではなく、できることから取り組むことが大切なのではないでしょうか。命の大切さ、当たり前の日々への感謝を忘れず、生きていきましょう。そして、自分たちの手で、自分たちの未来を創っていきましょう。」

私たち大人も、このメッセージをしっかりと受け止めて、戦後80年の節目を大切に、平和な社会へ貢献したいと思います。



原爆が落とされるまでの歴史

最初の目標は小倉だったが、天気が悪く街が見えなかった



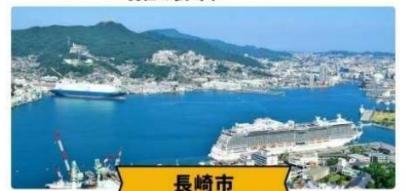
空襲の被害が少なく、兵器工場が多い長崎へ変更された



長崎を世界最後の被爆地にするために

戦争や原爆について学び平和について考える修学旅行にしてください

現在の長崎市



長崎市

各地区ラジオ体操ありがとうございました

7/22 東古瀬



7/23 上久米



7/25 上三草



7/28 喜田



7/29 大門



7/30 嬉野・嬉野台団地



7/31 山口・やしろ台



8/1 社2区



8/1 社5区



8/4 下久米



8/5 牧野



8/6 沢部



8/7 下三草



8/8 西古瀬



8/12 上田



8/18 田中



8/20 山国



8/27 東実



【上記以外のラジオ体操実施地区】 ※ご協力ありがとうございました

ひろのが丘、野村、上中、梶原西、福吉、中古瀬、屋度、木梨、藤田、平木